

新発田アパレル経営協同組合 手作りの布製マスクを学校に配布

新発田市と新発田アパレル経営協同組合は、約 1 万 7 千枚の布製マスクを製作し、市内の学校に配布した。新型コロナウイルスの感染予防につなげてもらう目的。

市からの要請を受け、素材が手に入らない中、全国からなんとかガーゼやゴムを調達して同組合の組合員 3 社が協力し手作業で製作した。ゴールデンウィーク前の仕事があったものの、4 月 6・7・8 日の入学式・始業式に間に合わせるためマスク製作を優先して取り組んだ。1 人 1 枚は教師含めて市内の小中学校に入学式・始業式までに配布でき、残り 1 枚は来週末までに納品し 20 日配布予定。マスクは市が組合から購入する形で、組合の利益はないものの、協同組合が地域に貢献する取り組みとなった。

(2020.4.10 新発田アパレル経営協同組合 谷川理事長)